

編集 日本基督教団中部教区  
教区通信編集委員会  
発行人 田口 博之  
発行所 〒461-0009  
名古屋市東区久屋町8の6  
日本基督教団中部教区事務所  
電話 (052) 971-8497  
E-mail ckyo@quartz.ocn.ne.jp  
振替口座 00830-7-52037  
Homepage http://uccj-chubu.com



# 中部 教区通信



## たとえ、つまずいても ルカによる福音書 22章31〜32節

小松教会牧師 松島 保真 ほさな

主イエスの一番弟子であったペトロが、主イエスを三度知らないと言っている場面は、一度読んだら忘れられない強烈な印象を残します。それは、わたしたちにも思い当たるからです。その場にいたなら、わたしたちも同じことをしたはずで、順調な時は最後まで主に従い抜くと豪語していても、いざ逆境の時にとなると主を見失い、否定してしまう。ペトロが三度目に主を否定した時、朝を告げる鶏が鳴き、主イエスは振り向いて、ペトロを見つめられました。そこでペトロは、主イエスの語られた言葉を思い起こすのです。「今日、鶏が鳴く前に、あなたは三度わたしを知らないと言ったであろう」（ルカ22・61）。そして、外に出て激しく泣きました。自分の不甲斐なさ、どうしようもない弱さ、主イエスに従いきれない罪を痛いほど見せつけられ、主イエスのためなら死ぬると言っていたのだから、あっけなく崩れ去ったのです。

「わたしは、あなたのために信仰が無くなるように祈った。だから、あなたは立ち直った。兄弟たちを力づけてやりなさい」（22・32）。信仰が無くなることありえないと思っただけでしょう。主イエスに対する熱心が崩れるはずがないと。しかし、自らの熱心さを頼りにする信仰があっけなく崩れた時、主イエスの語られたあの言葉が響いてきたのです。「わたしは、あなたのために信仰が無くなるように祈った。」わたしを三度も否定するなら弟子をやめなさい、と主は言われませんでした。そのことを知った上で、それでもなおペトロの信仰が無くなるにやうにと祈ってくださいました。ペトロが激しく泣いたのは、主イエスのまなざしの中で、その深い愛と憐れみに気づいたからでしょう。その祈りによって、ペトロはやがて立ち直り、同じようにつまずいた兄弟姉妹を力づけ、命懸けでキリストの救いを伝えたのです。

この後、ペトロは使徒として精力的に伝道し、最後には殉教したと言われます。あのペトロが十字架を前にした主イエスを否定したことは、決して自慢できることではありません。ペトロが黙っていれば、誰も知らなかったかもしれない。でも、このエピソードは四つの福音書すべてに記されています。それはペトロ本人が自分のつまずきを繰り返して語ったからではないのでしょうか。恐れに捉われ、主を知らないと言ったこのわたしが、今、こうして立ち直り、福音を宣べ伝える働きに用いられている。たとえつまずいても、主イエスのまなざしの中で慰められ、主イエスの祈りによって、何度でも立ち直ることができるのだと、教会で繰り返し語り、信仰につまずいた兄弟姉妹たちを力づけたのだと思います。

わたしたちもペトロのよう信仰につまずくことがあるのです。三年前から新型コロナウイルスに翻弄される日々の中で、わたしたちはそのことを痛いほど実感しているのではないのでしょうか。健康が損なわれる。うまくやっていた仕事が行き詰まる。これまで積み上げてきた人間関係が崩れる。自分を支えていたと思っていたものが失われる時、信仰さえもぐらついてくる。それまでであった自信を失い、何を信じて良いのかさえわからなくなる。ペトロのように追い詰められて、主イエスを見失ってしまふことさえある。その時に初めて自らの力ではどうすることもできない罪に気づかされます。と同時に、主の憐れみ深さに気がつくのです。

信仰が崩れそうになった時、崩れまいとして自分の力で張りたくてもいい。信仰は自分の力で守り抜くものではないし、自信もありません。もうだめだと思った時が、主のもとに立ち返るチャンスなのです。主イエスは崩れてしまったあなたを見つめておられる。礼拝において、わたしたちはそのまなざしに気づくのです。信仰がぐらついていいる時こそ、礼拝において主イエスの声に耳をすまします。その時、「信仰が無くなるにやうに」と、あなたのために祈っておられる主イエス・キリストと出会うのです。その方は、あなたの救いのために苦しみを受け、その罪から解放するために十字架の上で死んで、よみがえられました。そのキリストの救いのもので、あなたもペトロのよう弱さをさらけ出して泣けばいい。悔い改めて主のもとに立ち返ればいい。そこから立ち直る道が開かれ、今度はあなたが兄弟姉妹を励ます者となるのです。

## 活かされています 伝道活動援助費

### リードオルガン修復と特伝 金沢長町教会

金沢長町教会では、2020年よりコロナ禍のため、思うように伝道活動を行うことが出来ず、2021年度も特別伝道を企画しながらも実行する直前で感染拡大のため、行えませんでした。2022年度に入り、感染状況が落ち着いている絶妙の時に2つの特別伝道を行うことが出来ました。

教会創立130周年記念事業の一環として、宣教師がカナダから持ってきたリードオルガンを修復し、このオルガンをを用いての演奏会を中村証二氏(日本リードオルガン協会)を迎えて行いました。参加者一同、中村氏の信仰が現されたオルガンの音色に聞きいってました。また演奏会前後に多くの方々からの反響があり、「親がこの教会に通っていた」、「昔教会に通っていたときに聞いたオルガンかも知れない」などのお話をいただき、教会のことを覚えていただき、主の御名をほめ讃えるときとなりました。



特別伝道礼拝・講演会に平野克己師(代田教会牧師・元金沢長町教会牧師)をお招きし、行いました。礼拝ではわかりやすく主イエス・キリストの福音を宣べ伝えていただき、講演会では、「暴力の世界で柔和に生きる―野戦病院としての教会―」についてご講演いただき、主の憐れみの内に活かされている私たちであることを参加したすべての人が確認する素敵なきときとなりました。

教会財政の厳しい中ではありますが、伝道活動援助費があるおかげで、特別伝道が開催することができましたこと本当に感謝いたします。主より与えられた地に立ち続け、将来に対する種まきとして、この援助がこれからも福音伝道のために豊かに用いられていきますことを願います。

牧師 加藤孔二



### 礼拝のオンライン化 付知教会

私は2022年4月より田瀬教会を本務教会とし、坂下・付知教会を兼務教会と、併せて東濃三教会に着任しました。前任の若林牧師より、早急に礼拝のオンライン化が必要だと引き継ぎがありました。岐阜地区の応援態勢が新型コロナの感染拡大により、原稿読み上げの礼拝を余儀なくされていた為でした。

赴任早々に、田口教区議長が問安され、教会の現状について助言を受け、岐阜地区長の西川牧師も丁寧に説明して下さり、東濃三教会の中で、最も小規模の教会より伝道活動援助費の申請をすべしとの事で、付知教会からの申請となりました。各教会でオンライン礼拝を持ち回りで行っていますため、持ち運びできるモバイル・ルーターを使用しています。ただ、坂下・付知の両教会は受信可能な地域でしたが、どうしたものか田瀬だけ受信できませんでした。そのため田瀬のみ既に録画した映像をパソコンから直接読み取る方式を採っています。ルーターを持ち運ぶ手間がかかります。そこで新たに「聖書を読む会」という集会をオンライン礼拝の前週に開催するついでに運ぶ事にしました。従来なかった集会ですので、集まるという習慣が定着するまでは、DVDを鑑賞することで楽しみの要素を入れることにしています。三浦綾子原作の『塩狩峠』や『海嶺』、『氷点』などは、なかなか好評でした。

スマホを使えない方、高齢化のため車の免許を返上されている方もおられますので、録音テープや、録音CDをお届けするなど並行して進めています。今後はますます自宅で礼拝を守る方への対応が必要になるでしょう。

牧師 清水与志雄



## 教区が大切にしてきたこと 教師研修会報告

2022年11月21～22日（月・火）両日の14時～17時まで、ZOOMを通じ51名の教師の参加を得て行いました。

1日目は冒頭に教区アワーとして各地区の報告、新任教師が紹介されました。その後「執り成し合う教会の交わり～中部教区が大切にしてきたこと」と題して、講演を伺いました。

講師の井ノ川勝先生は山田教会30年、金沢教会9年と中部教区一筋に伝道牧会され、伝道者としての原点となった「キリストを愛し、教会を愛し、土地を愛して、キリストを伝道する」ことなどを証しされました。その後、中部教区常置委員、教区議長などを通して働いてきた中で中部教区が大切にしてきたことを語ってくださいました。支え合う教会の交わりの土台は「日本基督教団信仰告白」と「教憲・教規」です。この土台に立って各教会・伝道所の伝統を尊重し、伝道・互助・研修を推し進めて行くこと、その土台による信頼関係の上に「互



助」が成り立っていると語ってくださいました。また、宣教実施目標、宣教基本方針についての歴史的な流れを大切にしてくれていることをお話してくださいました。

2日目は、先生の講演をうけての質疑応答から始まりました。前日にいただいた質問から先生が答えてくださいましたが、特に「宣教基本方針案」の当時の経緯、そしてそこでの議論が多くなされて今があるとのことでした。これをめぐって教区三役や他の参加者からの応答もありました。

両日とも最後にいくつかのグループに分かれ、講演から得たことや各教会の近況課題などを共有し祈り合いました。

日本基督教団中部教区の中で、旧教派の違いはあっても、違いを尊重しつつ、同じキリスト道に向かい進んでいくことを確認する時となりました。

教師部委員 後藤真英

## YouTubeでの婦人研修会

主のみ名を讃美致します。いつも教区の皆様のお祈りやご協力に支えられて活動ができていることを感謝しております。

第27期の婦人委員会の運営委員として、準備してまいりました婦人研修会を2022年7月に無事に終えることができましたことは、2年間の任期中で最も感謝すべきことと思います。中部教区の婦人方を集めた婦人研修会は、コロナ禍以前は大きな会場で対面で開催しておりましたので、早くから会場や宿泊を予約しておりました。私達運営委員は、何度も協議を重ね、伝統ある中部教区婦人研修会の対面実施を祈ってまいりました。しかし、この任期以前より始まった新型コロナウイルス感染の蔓延により、様々なことが中止や様式を変えての実施に追い込まれました。その結果、神様から提示されたのは、ユーチューブを使ったオンライン配信での研修会の持ち方でした。オンライン配信に疎い私たちにとっては初めての試みで、講師をお願いしました松山のさや教会の篠浦千史先生にもご心配をおかけしたと思います。しかしながら、担当教師の有岡史季先生が準備下さり四国まで出向いて、篠浦先生と共にユーチューブ配信を成功に導いて下さったことは、本当に感謝しております。神様はすべて御手の中で計画され、私達の益になることをなして下さるお方であることを、益々感じさせていただきました。

研修会の当日には、生配信で各地の多くの方々と恵みの分かち合いができ、8月末までの録画配信終了に至るまで、本当に多くの方々に視聴していただきました。今までの対面の研修会の出席人数に比べ、倍の500名ほどの方々に視聴いただき、多くの方々が祝福に満たされたことを確信しております。また、視聴後には皆様がたくさんの感想や写真を寄せて下さり、それらを先生方のお話原稿とも共に一冊の報告書にまとめることができました。この報告書は、教区内の各教会及び伝道所にお送り済です。

研修会に向けて準備を整えて下さった神様は、先生方にも婦人方にも聖霊を十分に注いで下さり、大きな恵みを与えて下さいましたことを感謝いたします。

教育部婦人委員会委員長 窪田典代(如鷲教会)





名張教会 敦森幹生

按手を受けて改めて思うのは、子供の時から今まで神様が私を導

いて支えていてくださったのだということです。神学生の時は説教の備えをする際に、聖書の言葉を「これはどういうことだろうか」、「本当だろうか」と疑い、そこを足掛かりにして御言葉と向き合う日々でした。しかし伝道師として御言葉と向き合ううちに、まずは聖書の言葉を疑わずに受け止める、子供の時に教会で聖書を聞いていた時の姿勢が戻ってきました。

クリスマス礼拝では名張教会の会員と共に聖餐に与る初めての聖餐式となりました。同じ信仰を告白する兄弟姉妹と共に、主の死を覚え、罪の赦しと永遠の命の約束を新たに受けることの大切さに改めて気づかされます。これから牧師として、名張教会での歩みを神様の支えによって、会員と共に続けていきたいと思えます。

### 按手を受けて

昨年12月1日、名古屋中央教会で按手礼式が行われ、5名の教師が按手を受け正教師になりました。



尾鷲教会 嶋田百々子

按手まで長い道のりに思えたけれど、前日には「あつ」という間に、

とうとうここまでできてしまった、神様責任とつてくださいな」という祈りを捧げました。緊張でハンカチが湿って

しまうほどでしたが、地区の先生方、つながりのある先生方が忙しい中駆けつけてくださり、皆様のお顔を見てホッとしました。

按手の手は重く、先生方のアーメンの声が体中に響き渡り、涙が流れました。先生方の挨拶を聞きながら、それぞれの教会で、私達に育てられたのだなと、改めて感謝の祈りを捧げました。

初の聖餐式は「あれ？讃美歌ってどこで歌うのだったの？」「あれ？これでよかったのかな？練習したのだけだ」と。「これからだよ、もっと楽しくなるよ」とお声をかけてくださった先生の「楽しい」の意味が本当にわかるのは、もっと先のことだろうと思えます。一步一步参ります。



金城教会 山本美保子

去る十二月一日、按手を受け、牧師となりました。当

日は多くの先生方、信徒の皆様が駆けつけていただき、お祝いだけでしたこと、改めて心より感謝申し上げます。

さあ、これから、と思っ矢先の十二月半ば、転倒して右手首を骨折。気の弛みか、傲慢か、と、自分の愚かさを悔い改めると同時に、様々な恵みもいただきました。利き手が使えないことからは、不自由な思いをしておられる方々の気持ち、食事をひっくり返す失敗からは、食べ物に事欠く方々の気持ちを、理解することへと目が開かれたのです。そして何より、教会の内を外を問わず、助けが備えられていることを教えられました。

とかく自分の力に頼り頼みがちな私に、神様は「そうではない。」と教えてくださったのだと思えます。改めて、伝道者の原点に立たされた思

います。私たちのために低く降られたイエス様に頼り頼んで、与えられた務めに励みたいと思



南山教会 三好祐輝

先日は按手礼式を行っていただき誠にありがとうございました。

ました。コロナ禍の続いている中ですが、主にある家族の皆様が集まってくくださりとても嬉しかったです。

頭に置かれた先輩方の手の重みに、主よりの任務の重さと、皆さまに祈られていることを実感しました。

式の後の温かいスピーチにも励ましを頂戴しました。さあ頑張らねば！と思ってしまうが「がんばらず（我を張らず）」、遣わされる地域に「ねばって（根を張って）」教会でできるような心がけます。また、何でも自分でやろうと思わず、主に頼ろうと思わせられました。

「主にまかせよ、汝が身を、主はよろこびたすけまさん」（讃美歌二九一番）  
また、同期の五人そろって按手を受けられたことも喜びで、詩編一三三・一のみ言葉を想わされました。主イエスによって建てられた愛の国（讃美歌21、四一二番）が、益々広がって行きますように。



名古屋中央教会 金元基

私は、イエス・キリストの福音に魅了され、その宣教の

業の一端を担いたいと願って関西学院大学神学部に入學しました。名古屋中央教会の伝道師としての日々を経て、神学部入学からおおよそ7年が過ぎようとしています。平坦な道のりではありませんでしたが、按手を受けることができました。

日本のクリスチャン人口の減少や神を否定することを是とするかのような現代社会の中で、これから福音宣教の一端を担っていくことは、容易ではないかもしれせん。しかし、神と人に謙遜になり、教会に奉仕することの意義、またイエス・キリストの模範に従い、神に信頼する生を人々と分かち合いながら生きていくことの喜びを感じることで

できたこの7年の歩みは、人間の好みや願いではなく、神に招かれ、聖霊に導かれた豊かな生に他なりません。按手を受けることができたことを心から感謝し、これからの日々を迎えたいと思えます。

輪島教会は2013年に創立百周年を迎えました。ですから2023年は110年目ということになります。輪島の町は、江戸時代から北前船による海上交通の要所として栄えた町です。今でもたくさんの漁船が停泊し、また四季に応じての新鮮な海の幸、山の幸を持ち寄って行われます朝市は、その起源を平安時代にまで遡ることができます。そこで漆器

産業、観光産業を基幹産業として栄えてきました輪島ですが、長期的な景気低迷や、人口減少、高齢化に伴ない、かつての勢いは失われつつあります。輪島市の人口は2万4千人。

その輪島の町に宣教が開始されました。その最初の記録には、「明治30年代(カナダ、

ここでの宣教



輪島教会

メソジスト教会の宣教師)D.R.(要確認)マッケンジーが金沢部会長の頃より少なくとも年に1回の伝道出張が試みられていた。同36年の春、マッケンジー他2、3名のわれらの同労者、輪島劇場において演説会を試みんと企てるも、拒絶され帰った。」とあります。国鉄の北陸本線と七尾線が輪島まで開通したのが1935年(昭和10年)。インフラ整備のなかっ

た明治、大正期、輪島からおよそ100km離れた金沢まで、徒歩、舟、列車を乗り継いで2日以上かかったと言われていいます。その10年後、1913年(大正2年)の4月に土地を購入し、8月の第1週に初回の礼拝、9月14日には献堂式が行われました。

今日ではメソジスト教会の宣教師が経験した迫害はもうないにしても、まだまだ血縁、地縁、職業による人間関係は強固であり、自由な信仰を促す基督教の宣教はなかなか難しいところがあります。輪島に赴任して5年目、クリスマスのキャロリングのとき会堂前で歌っていると近所の方数名が讃美歌を聞きに出てきてくださいました。牧師館で猫を飼い始めましたら猫つながりて挨拶を交わす人が増えました。キリストを伝える私たちは最初どのようにしてキリスト者と関わったのでしょうか。特別なことはできていません。教会員の小さな口小さな業の背後には、人間的な計算にはない神の隠れた計らいがあると信じます。

牧師 新藤 豪

着任してひとしきり



名古屋中村教会 岡 健介  
二〇二二年七月、名古屋中村教会に赴任しました。温かく迎

えられ感謝いたします。

教会での大切な務めの一つは点字タイプライターを用いての点字週報作成です。点字を打ち始めたことで、周囲の点字に改めて気づき、少しずつ目で追うようになりました。そんな中で、点字週報を利用されている教会員さんのお話を伺う機会がありました。その時、点字を「打つ」ものだけ思い、触れてみることを指で読もうとすることを考えていかなかったと気づきました。触れて読む練習もしていけたら、と想います。

この数年、ささしま共生会での事務、障がいを抱える方々の介護、名古屋堀川伝道所の協力牧師を担ってきました。介護職は現在も継続しており、多くの方々のご理解とお支えの中で教会での務めを担うことができています。敬愛する皆様の業にならいつつ、教会と地域に仕える者でありたいと願っています。

るばるの声

「まきば」の宗教主事兼施設長となつて早いもので五年が経った。教会主任担任教師とは違った働きではあるが、コロナ対策で館内の立入制限する中でも、「まきば」が大切に行っている毎週の「聖書の集い」等、共に集い守り続けられた事は、入居者様にとって大きな安心となった。

目に見えず感染力の強いコロナウイルスは、人との繋がりがや交わりを断つことが予防策とされている。その為これまで以上に孤独を感じている人がいる。

「人が独りでいるのは良くない」(創二章一八節)ように、人との交わりの中で、自分の存在が受け入れられ居場所が与えられる安心感、何ものにも代えることの出来ない幸いである。再び教会へ戻ることができつつある。多くの人が「ここに居て良んだよ」とのみ声を聞き、共に神を賛美し、礼拝を守る幸いが与えられる事を祈り願う。

小田部正一



南吉衛牧師を偲んで

南吉衛牧師は私の前任者として八年間、桑名教会で講壇を守っておられました。私が赴任してからも、しばらく桑名教会の礼拝に出席され、一番後ろの席で礼拝を守られていました。牧師であるなら、長く牧会経験を積んだ牧師が会衆席に座っている、という状況は、あまり宜しくないのです。例えば私が説教をしている最中に、南牧師が首を傾げられたのなら、それがたとえ肩がこっていた、という訳だったとしても、私は「なんか神学的に間違った積義を話してしまったのか」と戦々恐々となったことでしょうか。でも先生は稚拙な私の説教をいつも、まったく表情を変えずに聴いてくださいました。どちらかというところ、うんうん、という面持ちで聞いて下さいました。私を育てて下さっているなんだなと、講壇の上から説教しやすかったことを覚えています。

晩年、認知症の症状が進みました。私が長島のお宅を訪問したとき「最近、ドイツ語が読めなくなってきたんだ」と、寂しそうに話されます。

「でも、まだ祈ることはできる」と。その時、私は「愛は決して滅びない。預言は廃れ、異言はやみ、知識は廃れよう」（1コリ十三：八）という聖句を思い出しました。牧師として、知識や論理、技巧、肩書きを求めめるのではなく、愚直に神を臨み真摯に祈る。私は先生から、そんな伝道者としての姿勢を学ばせていただきました。天国でお会いできる日を楽しみにしつつ、その時に恥じることはないように、日々を過します。

桑名教会 辻秀治



寺田仁計牧師を偲んで

寺田仁計牧師と私との関わりをふり返った時にとっても感謝を覚えることがあります。それは二〇一三年春に伝道師として赴任してから約五年間共に働いてきた私に対し寺田牧師は一つの小言もダメ出しも言われなかったということです。間違いや、失敗、足らないことだらけの私を黙って見守るといふことは決して簡単な事ではなかったはずですが、でも寺田牧師は一步引かれたところから私を支えて下さったのでした。その寺田牧師の小ささ、謙遜さに今改めて頭が下がる思いをしております。

晩年、足腰、気力も弱られた寺田牧師は名古屋新生教会に通うことができなくなり、自宅での生活に入られました。お訪ねした時には、以前と変わらぬ笑顔で迎えてくださる寺田牧師がおられました。日に日に生活の力が弱られていき二〇二二年八月一日の朝、入居していたケアホームの食堂に腰を掛けたまま静かに息を引き取られました。故・松井稔牧師との出会いを機縁として定年後に、牧師として教会と保育園に献身するようになって約十八年、ご自分に与えられた役目を精一杯に果たしてこられた寺田牧師が『もうするべきことは果たした。あとは神さま、イエスさまのいる、そして敬愛する松井牧師のいる天国に帰るだけだ』とそんなお気持ちで天に帰られたように感じています。

子どもたちが教会に来るといつも笑顔いっぱい迎えてくれた寺田牧師、どうぞこれからも天から見守っていてください！

名古屋新生教会 安達正樹



菊地潤子牧師を偲んで

菊地潤子先生は二〇二二年八月十八日午前九時三九分八七歳の生涯を終え天に召されました。潤子先生は栃木県西那須野町（現那須塩原市）に生まれ一九五五年に洗礼を受けられました。高校を卒業された年に友人に誘われてスウェーデンホルネスミッシヨンの伝道集会に出席したのがキリスト教との出会いでした。その後西那須野福音教会で信仰へと導かれました。一九五八年にはブリントン宣教師ご夫妻と共に黒磯町で伝道され共立女子聖書学院で学ばれ、プリンテ師が帰国される一九六九年まで良き交わりとご指導のもと充実した日々を送られました。一九六六年には菊地惟晃先生と結婚され一男二女に恵まれました。一九七一年に惟晃先生が日本基督教団西那須野教会に赴任、潤子先生は教会付属の西那須野幼稚園に勤務され、一九七七年に新潟の新井教会、一九八一年には春日井市の桃山教会で夫と共に教会に任せました。

その中で献身の思いを再確認され教師検定試験を受け一九九四年に按手札の恵みにあずかられました。二〇〇四年に四日市教会に赴任され主と教会に任せ二〇〇七年に隠退された後、春日井市に居を定め祈りと感謝の内に過ごしておられました。

先生の愛唱歌「主よ、終わりまで」の歌詞の通り先生はまさに終わりまでもべとして主に仕え従われた方でした。常に穏やかで謙虚で神を愛し人を愛された方でした。潤子先生ありがとうございました。

豊山教会 大住元

## 統一協会とは何か

2022年7月8日、奈良県内で参議院議員選挙の選挙応援演説中だった安倍晋三元総理が、山上徹也容疑者によって銃撃され死亡しました。事件後、容疑者の殺害の動機として浮上したことは、母親が旧・統一協会の信者であり、一億円を超える献金で家庭が崩壊したことから教団を恨み、教団との繋がりが深かった元総理を殺害したということでした。

旧・統一協会とは、1954年に韓国で文鮮明により設立されたキリスト教系新宗教です。日本への伝道は、崔奉春<sup>ソンイク</sup>が1958年に派遣されたことに始まります。この宗教は1930年代、政情の不安定な韓国社会で生まれて来た「混淫派」別名「血分け教」と言われた宗教をルーツにした組織です。血分けとは、再臨のメシアである教祖と、女性信者が性関係を持つことによって救われるということです。初期の統一協会も、教祖文鮮明がそれを実践したと言われています。旧・統一協会は正式名称を世界基督教統一神霊協会（現在は世界平和統一家庭連合と称している）と名乗り、キリスト教の一派のように振舞って来ました。しかし、これまで韓国でも日本でも、キリスト教団体から「キリスト教にあらず」という声明を何度も出されました。また、宗教法人の認証を受けていますが、宗教とは別の顔も持っています。1950年から三年間に渡って起きた朝鮮戦争以降、世界は西側の自由主義陣営諸国と、東側の社会主義陣営諸国との対立が激化していきます。そのような中で、1960年代初め頃から韓国の軍事独裁政権であった朴正熙大統領時代に、KCIA（韓国中央情報部）という組織が作られました。統一協会はその手足となり、反共を旗印に謀略的な政治活動を展開する中で、アメリカや日本で様々な犯罪や反社会的な活動を進めてきました。

旧・統一協会という宗教団体は、人々の救いや慰めを与えるという宗教本来の在り方とは無縁の団体です。

その伝道の実態は、宗教であることすら秘匿して接近し、不実表示という憲法が保障する「信教の自由」を犯す行為を繰り返して来ました。統一協会問題の本質は宗教問題ではありません。マインド・コントロールという手法で生み出される被害者の再生産と、靈感商法という詐欺商法に明け暮れる文鮮明（現在は妻の韓鶴子）の奴隷を作り上げることです。靈感商法がマスコミで報道され、やりにくくなれば、信じ込んだ信者に商品を介在させない高額献金を強要し続けて来ました。私に関わったケースで、山上容疑者の母と同じように、一億円以上献金した人は十数人いました。

安倍元総理の銃撃事件以後、マスコミの報道によって、多くの政治家との癒着や被害の実態が表面化してきました。政府も動かざるを得ない状況となり、私たちから見れば不十分なものですが、先の国会で「救済新法」が成立しました。また、旧・統一協会の宗教法人解散へ進む可能性も出てきています。ただ、仮に宗教法人の解散命令が下ったとしても、免税措置がなくなるだけで、旧・統一協会の宗教としての任意活動は続きます。サリン事件で多くの死傷者を出したオウム真理教が、宗教法人を解散させられましたが、今なおアレフと名称を変えて宗教活動をしているように、旧・統一協会の被害者を生み出し続ける宗教活動も、なくなりはいません。過去に、宗教法人の解散が裁判所によって命令が下されたのは、オウム真理教と明覚寺の二例だけです。そして、解散請求から命令が下されるまでにオウムが7ヶ月、明覚寺が3年かかっています。もし、解散命令が下されないようなことになれば、国が旧・統一協会の活動にお墨付きを与えることになり兼ねません。36年間、被害者の救出活動が続けて来た私にとって、そのことが一番の気がかりであります。

西尾教会牧師 杉本 誠

### バイブルキャンプ You中部 vol.5 「輝いている自己発見」

講師 森島豊先生（青山学院大学宗教主任）

日程 2023.3.27(月)～29(水)

会場 大杉みどりの聖（石川県小松市大杉町98）

参加費 10,000円

（兄弟姉妹での参加は2人目から8,000円）

対象 小学校6年生～高校3年生

申込〆切 2月28日(水) QRコードから

\*名古屋方面から無料バスあり



### 【第73回中部教区総会ご案内】

・日時 5月23日(火)13時～24日(水)13時

・場所 名古屋中央教会

・主な議案

一、准允式執行に関する件

一、教区総会議長選挙、教区総会副議長選挙、教区総会書記選挙に関する件

一、教区常置委員選挙に関する件

一、特設委員会継続に関する件

一、2023年度宣教実施目標案に関する件

一、2023年度歳入歳出予算案に関する件

一、秋季按手札執行に関する件

## 富山地区 問安記

昨年10月17日（月）から18日（火）にかけて、富山二番町教会（勇文人牧師）を会場に第2回常置委員会が開かれました。コロナ下により、常置委員以外の地区会長と各部・各委員会の長はZoom参加によるWeb会議ハイブリッド方式で行いました。知恵と祈りを合わせた2日間でした。



常置委員会終了後には、富山地区の3教会・伝道所と二つの認定こども園を問安しました。

富山新庄教会（渡部和使牧師・渡部信子牧師）は、住職であった亀谷凌雲先生がキリストに出会い回心し、開拓された教会であるとの証しをいただきました。主の業と救霊に対する熱い思いが伝わってきました。



石動教会・石動青葉保育園（井幡清志牧師）では、素晴らしい伝道の実りを見させていただきました。現役職員の半数が受洗へと導かれています。保育園舎は創造的で、外壁の「UT FILII LUCIS AMBULATE」（光の子として歩みなさい／エフェソ5：8）の言葉、自然の力に溢れた園庭と機能的な園舎が印象的でした。



福野伝道所・福野青葉幼稚園（吉川光太郎牧師・森野真理牧師）は、地域に開かれることを求めつつ教会形成に取り組んでおられます。現在、広大な敷地のある幼稚園の一角に新会堂を建てる計画が進んでいます。主の恵みと感謝に満ちた問安をすることができました。



（尹成奎）

### 【常置委員会報告】

8月以降の常置委員会の決定事項(主なもの)(9月～1月)

#### 一、教師に関する件

教務教師辞任 1件

一、会堂融資金借入申請に関する件 1件

一、問安に関する件 1件

#### 一、教団・教区に関する件

・ 2023年度伝道資金の申請に関する件

・ 新型コロナウイルス感染拡大に伴う教会財政援助に関する件

特別伝道費援助の申請(9教会・伝道所に624,000円を執行)

・ 教区総会報告審査に関する件

・ 教会記録報告審査に関する件

・ 就任式に関する件 3件

一、第72回教区総会議事録承認に関する件

#### 一、助合伝道会計に関する件

・ 2022年度退職一時金積立援助案に関する件

36教会・伝道所36名に対して244万円

・ 2023年度謝儀援助基準案に関する件

・ 2022年度伝道活動助費に関する件

18教会・伝道所に796,000円

#### 一、財務に関する件

・ 2022年度教区クリスマス献金の目標額に関する件

・ 2022年度宗教教誨師活動支援献金の目標額に関する件

・ 2023年度負担金算出案および負担金算定に関する謝儀・給与の控除額に関する件

一、愛知老人コミュニティーセンター運営委員承認に関する件

一、2022年秋季教師検定試験合格者の面接及び接手礼式執行に関する件

一、2023年度春季教師検定試験(Cコース)受験志願者の教区推薦に関する件

### 【教区だより】

◇お悔み 主の慰めをお祈りします

南 吉衛(隠退教師)、寺田仁計(無任所教師)、菊地潤子(隠退教師)

### 【教区事務所より】

3月初旬に、第73回中部教区総会のお知らせと教区への提出書類を各教会にお送りいたしますので、ご確認をよろしく願います。